

理事長あいさつ



理事長

五十嵐 修 平

冒頭、この度の東日本大震災によって被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。まさに未曾有の大災害でありまして、決して他人事とは思えません。ご存じのとおり、我が

相が表明するなど、原発への依存度を高めてきた日本のエネルギー政策を、再生可能な自然エネルギー重視へ転換する姿勢をアピールしております。

亀田郷地域は、その3分の2が海拔0メートル地帯であります。365日・24時間体制で親松排水機場を稼働させ排水に務めております。そして、豪雨になれば本所、蔵岡、二本木の排水機場を稼働させ、更には鳥屋野潟排水機場、山ノ下排水機場の支援も受け、湛水被害から農地や市街地を守っているわけであり

また、昨年より東京大学の研究チームと一緒に水路溝畔を活用した太陽光発電システムも研究しております。管内を縦横に走る用排水路は、末端まで含めると約1300キロメートルにも及びます。通常は、皆さまから草刈りや泥上げなど維持管理を行っていただいておりますが、地域共有の財産として、利水、治水もさることながら、クリーンエネルギーの創出、農業施設へ活用するシステムの構築を図る発電機能も新たに加え、地域住民と土地改良区相互にメリットを生み出せるものと期待しております。

日本政府も2030年までに原子力による発電比率を50%に引き上げるつもりでしたが、先の経済協力開発機構設立50周年式典において、2020年代の

さて、今年の農業農村整備事業予算は、昨年同様

様低水準でありました。そこへ来て、このTPPの問題。特に農業の取り扱

か1万1500円に抑えるべく、大々的に身を削り、経常費も大きく見直し組み立てました。それから、

国の農業農村整備事業予算が大きく減らされた関係で、どうしても我々の

それから、我々土地改良区の組織の中で重要な

面改修から長寿命化工法へと変わってきました。やはり限られた予算を如何に効率的に、そして有効的に使

というところで、このように私どもの仕事も非常に多岐に渡っているわけですが、大きな問題も沢山山

り、今、様々な学者、評論家があらゆる角度で論じております。経済界では、

としましては、何と

総代会開催報告

平成23年度

平成23年3月11日平成23年度通常総代会が総代現在数66名のうち64名出席の中開催され、議長に田中作一総代(第8選挙区)、副議長に戸松栄次総代(第4選挙区)を選任し、合計12議案について審議し、全て議決されました。

平成23年度通常総代会(平成23年3月11日)

- 付議事項 認第1号 専決処分の承認について
議第1号 県単小杉下地区農業農村整備(かんがい排水)事業の施行について
議第2号 平成22年度収支補正予算案について
議第3号 平成22年度一般会計維持管理費の繰越明許費について
議第4号 平成23年度新規土地改良施設維持管理適正化事業の加入について
議第5号 平成23年度受託事業(用排水路移設補償工事)について
議第6号 定款変更について
議第7号 規約の一部改正について
議第8号 平成23年度賦課金について
議第9号 平成23年度収支予算案について
議第10号 平成23年度基金積立金の一時流用について
議第11号 平成23年度賦課金の徴収期日および方法について



東日本大震災義援金

この3月11日に発生しました東日本大震災によって、東北各県では多くの人命、財産が奪われ、農家の方々も多く被災し、農地、農業用施設も甚大な被害を受けました。そこで、少しでも復旧、復興に役立ち、我々の被災地への想いを届けたいと、この度義援金を募りました。新潟県土地改良事業団体連合会を通じ、被災地の各土地改良区への支援として運営費から50万円、また組合員の皆さま、工区、役員、職員から募りました100万6824円を新潟県を通じて被災された方々にお送りしたのでご報告致します。皆さまのご協力に厚くお礼申し上げます。